

1

介護支援分野

平成 30 年度 問題 1

介護保険法第 1 条（目的）に規定されている文言として正しいものはどれか。2 つ選べ。

- 1 高齢者の権利利益の擁護に資する
- 2 高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定を図る
- 3 国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る
- 4 有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができる
- 5 高齢者の居住の安定の確保を図る

1 ×

介護保険法第1条には「高齢者の権利利益の擁護に資する」との文言の記載はない。

2 ×

介護保険法第1条には「高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定を図る」との文言の記載はない。

3 ○

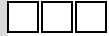
介護保険法第1条「(前文略) 必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。」に設問の記載がある。

4 ○

介護保険法第1条「この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、(以下略)」に設問の記載がある。

5 ×

介護保険法第1条には「高齢者の居住の安定の確保を図る」との文言の記載はない。



介護医療院について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 開設の許可は、市町村長が行う。
- 2 開設者は、医療法人でなければならない。
- 3 理美容代の支払いを受けることはできない。
- 4 居宅介護支援事業者等に対して入所者の情報を提供する際には、あらかじめ文書により入所者の同意を得ておかななければならない。
- 5 都道府県知事の承認を受けて、医師以外の者を管理者にすることができる。

1 ×

介護医療院の開設許可は市町村長ではなく、都道府県知事が行う。

2 ×

介護医療院を開設できる者は、「地方公共団体・医療法人・社会福祉法人・その他厚生労働省が定める者」と定められており、医療法人に限られていない。

3 ×

理美容代は介護保険給付外である為に、支払いを受けることができる。

4 ○

入所者の情報は個人情報になる為に、居宅介護支援事業者等に対して入所者の情報を提供する際には、あらかじめ文章により入所者の同意を得ておかなければならない。

5 ○

介護医療院は都道府県知事の承認を受けた医師に管理をさせなければならないが、医師以外の者に管理をさせることができる。ただし、その場合にも都道府県知事の承認を得る必要がある。



地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業として市町村が実施することとされているものはどれか。3つ選べ。

- 1 地域住民への普及啓発
- 2 医療・介護関係者の研修
- 3 地域在宅医療推進員の設置
- 4 地域の医療・介護の資源の把握
- 5 地域リハビリテーション活動支援体制の構築

1 ○

「地域住民への普及啓発」は、地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業として市町村が実施することとされている。

2 ○

「医療・介護関係者の研修」は、地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業として市町村が実施することとされている。

3 ×

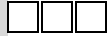
「地域在宅医療推進員の設置」は、地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業として市町村が実施することには含まれていない。

4 ○

「地域の医療・介護の資源の把握」は、地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業として市町村の実施することとされている。

5 ×

「地域リハビリテーション活動支援体制の構築」は、地域支援事業の在宅医療・介護連携推進事業として市町村が実施することには含まれていない。



感染症と感染経路の組合せについて正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 結核 - 空気感染
- 2 疥癬 - 飛沫感染
- 3 インフルエンザ - 空気感染
- 4 腸管出血性大腸菌感染症 - 接触感染
- 5 流行性耳下腺炎 - 飛沫感染

- 1 ○
結核は空気感染である。
- 2 ×
疥癬は接触感染である。特にノルウェー疥癬は感染力が非常に強いといわれている。
- 3 ×
インフルエンザは飛沫感染である。
- 4 ○
腸管出血性大腸菌感染症は接触感染である。
- 5 ○
流行性耳下腺炎は飛沫感染である。



次の記述について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 腹囲は，メタボリックシンドロームの診断に使われる。
- 2 血清アルブミン値は，栄養状態の指標とはならない。
- 3 血中尿素窒素（BUN）は，腎機能の指標となる。
- 4 白血球数は，細菌感染で減少する。
- 5 AST（GOT）は，心臓の疾患でも上昇することがある。

1 ○

メタボリックシンドロームの診断には腹囲が用いられる。なお、男性 85 cm以上、女性 90 cm以上の腹囲が肥満の指標とされている。

2 ×

血清アルブミン値は栄養状態の指標とされている。血清アルブミン値が低下をすると低栄養状態とされている。

3 ○

腎機能の低下により、血中尿素窒素（BUN）の値が高くなることから、腎機能の指標として用いられる。また、血中尿素窒素（BUN）以外にはクレアチニン（Cr）の検査値が用いられる。

4 ×

白血球数は、細菌感染や炎症で生体防御のために上昇する。

5 ○

AST（GOT）は、肝・胆道疾患の指標でもあるが、その他心臓の筋肉にも含まれているため、心臓の疾患においても数値が上昇することがある。



認知症について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 レビー小体型認知症では、便秘や立ちくらみなどの自律神経症状を伴うことがある。
- 2 うつ状態が続くと、認知症と診断されてしまうことがある。
- 3 認知症の初期では、ADLの低下がみられ、進行するとIADLの低下が起こってくる。
- 4 せん妄は意識障害であり、認知症と区別する必要がある。
- 5 認知症初期集中支援チームの訪問支援対象者は、初期の認知症患者に限られる。

1 ○

レビー小体型認知症では、幻視・パーキンソン症状などがみられ、起立性低血圧・便秘・尿失禁などの自律神経症状を伴うことがある。

2 ○

うつ状態と認知症とは異なるが、うつ状態が続くと健忘を伴い認知症と診断されてしまうことがある。認知症の中核症状である見当識障害はうつ状態ではみられない。

3 ×

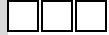
認知症の初期では IADL が低下をしていき、進行をしていくと ADL の障害を引き起こすのが特徴である。

4 ○

認知症では意識は保たれているが、せん妄は意識障害である為に区別する必要がある。

5 ×

認知症初期集中支援チームの対象者は、40 歳以上で在宅に生活をしており、認知症が疑われる又は認知症の人である。



在宅で医療機器を使用する場合の留意点について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 腹膜透析を実施している場合は、感染に注意が必要である。
- 2 在宅中心静脈栄養法を行っている場合は、入浴は禁忌である。
- 3 在宅経管栄養法では、カテーテルの定期的な交換は不要である。
- 4 気管切開を伴った人工呼吸療法では、気管切開部の管理が必要である。
- 5 在宅酸素療法では、機器の周囲 2 m 以内に火気を置かないようにする。

1 ○

腹膜透析を実施している場合には、自宅にて自分で取り扱うこともあり、病院よりも感染のリスクが高くなる傾向がある。カテーテルから細菌が入り、感染を起こすことがないように注意が必要である。

2 ×

在宅中心静脈栄養法を行っている場合、特別な配慮は必要であるが、入浴することは可能である。ただし、医師・看護師の指示や連携を図らなければならない。

3 ×

在宅経管栄養法ではカテーテルの定期的な交換は必要である。

4 ○

気管切開を行った人工呼吸療法では、清潔管理の徹底や気管切開部の保護などの気管切開部の管理が必要となる。

5 ○

在宅酸素療法では高濃度の酸素を使用するので、引火の危険性を避けるために、機器の周囲2 m以内での火気の使用は厳禁である。



在宅で行われる呼吸管理について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 ネブライザーで吸入薬を用いる際に副作用と思われる症状がみられた場合には、吸入を中止して医療者に報告する。
- 2 在宅酸素療法を受けている利用者が息苦しさを訴えた場合には、医師の指示の有無にかかわらず、酸素流量を増やす。
- 3 在宅酸素療法を実施している場合には、定期的にバッテリーの充電状態を確認する。
- 4 人工呼吸器を使用する場合には、緊急時の対応方法や連絡先を確認しておく。
- 5 痰の吸引器は、介護保険の給付の対象となる。

1 ○

ネブライザーとは吸入薬を霧状にして吸い込む機器である。副作用とみられる症状がみられた場合には使用を中止して、医療者に報告しなければならない。

2 ×

在宅酸素療法を受けている利用者の酸素量は、介護職が独自の判断で変更することができない。酸素量は医師の判断が必要である。

3 ○

在宅酸素療法を実施している場合には、緊急時や外出時にバッテリーが切れないように、定期的にバッテリーの充電をする必要がある。

4 ○

人工呼吸を使用している場合には、緊急時に備えて事前に緊急時の対応方法や連絡先等を確認しておかなければならない。

5 ×

痰の吸引器は医療機器であり、一定の要件は必要ではあるが日常生活用具給付等事業の給付対象となる。介護保険（福祉用具貸与、特定福祉用具販売）の対象外である。



介護老人保健施設について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 医療法人が設置する介護老人保健施設では、協力病院を定める必要がない。
- 2 サテライト型小規模介護老人保健施設及び分館型介護老人保健施設の2つの類型からなる。
- 3 介護老人保健施設は、入所者が不正行為によって保険給付を受けたときは、市町村に通知しなければならない。
- 4 感染症又は食中毒の予防のため、その対策を検討する委員会をおおむね三月に1回以上開催しなければならない。
- 5 入所者の心身の諸機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるため、リハビリテーションを計画的に行わなければならない。

1 ×

介護老人保健施設の運営基準にて、医療法人であったとしても「協力医療機関を定めなければならない」と規定されている。

2 ×

介護老人保健施設の類型は①ユニット型介護老人保健施設②サテライト型小規模老人保健施設③医療機関併設型小規模介護老人保健施設④分館型介護老人保健施設⑤介護療養型老人保健施設、の類型に分かれる。

3 ○

介護老人保健施設は入所者が不正行為によって保険給付を受けたときは、市町村に通知しなければならない。

4 ○

介護老人保健施設として、感染症又は食中毒の予防の為に、その対策を検討する委員会をおおむね三月に1回以上は開催しなければならない。また、その結果については、介護職員やその他従業者に周知徹底をしなければならない。

5 ○

介護老人保健施設は、理学療法士や作業療法士等の人員配置がある。入所者の心身の諸機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるため、リハビリテーションを計画的に行わなければならない。



面接場面におけるコミュニケーション技術について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 「もう少し詳しく話してください」という質問は、クローズドクエスション（閉じられた質問）である。
- 2 コミュニケーション手段としては、言語的なものと非言語的なものがある。
- 3 傾聴は、「聴いている」ということをクライアントに理解してもらうことを含む。
- 4 「励まし、明確化、要約」は、クライアントとの関係を形成するための重要な技術である。
- 5 話すときの表情、抑揚、速さは、重要ではない。

1 ×

「もう少し詳しく話してください」という質問は、相手が自由に答えられる質問であり、オープンクエスチョンに該当する。一方、クローズドクエスチョンは、答えが「はい」「いいえ」又は答えが決まっている質問形式をいう。

2 ○

コミュニケーションの手段としては、言語化できる言語的コミュニケーション（会話・筆談・点字等）と言語化できない非言語的コミュニケーション（身振り・表情・姿勢等）がある。

3 ○

傾聴とは、耳と心を相手に傾けて聴くことであり、聴いていることを相手に理解してもらうことである。

4 ○

「励まし、明確化、要約」は、クライアントとの関係を形成するための重要な技術となる。

5 ×

話すときの表情、抑揚、速さは非言語的コミュニケーションに該当する。コミュニケーションにおいては、非言語的コミュニケーションは重要である。



インテーク面接について、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 相談援助者は、どのような援助ができるかについて説明する必要がある。
- 2 インテークは、初期の面接であるため、1回で終わらせる必要がある。
- 3 秘密が保持できる部屋の準備など、クライアントが話しやすい環境を整える必要がある。
- 4 クライアントの主訴に対して、相談援助者の所属する機関が対応できないことを明確に伝えるのは、望ましくない。
- 5 インテーク面接では、経過や課題について正確かつ迅速に記録する必要がある。

1 ○

インテーク面接の段階で、どのような援助ができるかについてクライアントに説明をする必要がある。クライアントとの信頼関係を築いていくことが重要となる。

2 ×

クライアントの相談内容によっては、1回の相談で終わらないこともある。インテーク面接は、必ずしも1回で終わらせないといけないという決まりはない。

3 ○

インテーク面接では、クライアントが自身の想いや個人情報等を話しやすい環境への配慮をする必要がある。

4 ×

クライアントの主訴に対して、相談援助者として対応ができなければ明確に伝えなければならない。そのような場合は、クライアントを突き放すのではなく、主訴に対応ができる手段について一緒に考える姿勢を持たなければならない。

5 ○

インテーク面接では、経過や課題について正確に記録して、事後評価ができるようにしなければならない。



ソーシャルワークにおける集団援助として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 精神科クリニックで行われる、アルコール依存症の当事者による分かち合いの体験
- 2 地域包括支援センターによる、介護に悩む家族を対象とした交流活動
- 3 福祉事務所で行われる、社会福祉主事による生活保護の相談面接
- 4 特別養護老人ホームの入居者と地域住民との交流を目的とした夏祭りのためのボランティアの募集
- 5 地域支援事業として行われる、虚弱高齢者のグループを対象とした介護予防活動への助言

1 ○

精神科クリニックで行われる、アルコール依存症の当事者のよる分かち合いの体験は、ソーシャルワークにおける集団援助に含まれる。

2 ○

地域包括支援センターによる、介護に悩む家族を対象とした交流活動は、ソーシャルワークにおける集団援助に含まれる。

3 ×

福祉事務所で行われる、社会福祉主事による生活保護の相談面接は、ソーシャルワークにおける個別援助に含まれる。

4 ×

特別養護老人ホームの入居者と地域住民との交流を目的とした夏祭りのためのボランティアの募集は、集団援助に含まれない。

5 ○

地域支援事業として行われる、虚弱高齢者のグループを対象とした介護予防活動への助言は、ソーシャルワークにおける集団援助に含まれる。